

平成29年度事業仕分け 市の方針

事業No.	1	事業名	若者定住化に向けての情報発信力の強化	担当課	秘書広報課
<b>仕分け結果</b>					
廃止		民営化	市(要改善)	4	市(現行どおり)
<b>主な意見(委員)</b>					
<p><b>【市(要改善)】— 多数意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の事業継続については期限を設け、一定のテーマに傾注すべき。</li> <li>・大変頑張っているが、広報には費用の際限がない。インスタグラム・ブログ・ツイッター等、市民に協力を頂き、市民から発信してもらえば、費用をかけず拡散できるのではないか。</li> <li>・イメージ表現に偏るのではなく、映像のインパクトにも重点を置いてほしい。また、東側地区を含めインフラ全般についても分かりやすく説明・紹介してほしい。</li> <li>・例えば2年に1件、建て売りの住居をプレゼントするなど、話題性にも注力すべき。</li> <li>・我孫子市の魅力の一つである「住みやすさ」をディベロッパや不動産業界へ直接PRすることで、居住地区としての認知度を上げてほしい。</li> <li>・補助金、交付金については工夫して最大限活用すべき。</li> <li>・効果検証の指標を一つに限定せず、視聴率・聴取率など多様な手法で評価してほしい。</li> </ul> <p><b>【市(現行どおり)】— 少数意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は対外的に地道な課題であり、長い目で見えていく必要があるため、市内と市外に分けてPRの手法を検討していくことが望ましい。</li> <li>・事業そのものは多方面に展開されており良いが、市外への発信内容は市民も知らなければならない。市民が知ることによって市外に情報発信してもらえることを想定し、都内のみならず市民や駅利用者に対しても、市報だけに留まらない同等の情報発信してほしい。</li> </ul> <p><b>【参考意見(当日出席できなかった委員)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信そのものは大切であり、選択された情報発信の手段も適当だと思う。事業目的に則したのになっているかどうか再検討し、さらに改善する余地があるかと思われる。</li> </ul>					
<b>傍聴者の意見</b>					
<p><b>【アンケート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「我孫子市が初めて！」という項目が多く驚いた。また、渋谷のビジョンやCMを見て誇らしく思ったが、費用対効果が見えにくいと思う。</li> <li>・情報発信力は強化されていると思うが、ターゲット層とその層の関心メディアなどを分析する必要があるのではないか。</li> <li>・様々な媒体で魅力発信しているが、それを若者が観ているかは疑問。定住を考えている若者がどんな方法で情報を手に入れているか考えた方が良い。定住を検討している人はスーモなどフリーペーパーも見ているので、それらを活用してほしい。</li> <li>・PRしていく難しさを知った。他の自治体との競争となるので、いかに市民へ伝えていく事が重要かを知った。</li> <li>・各委員の意見は的を射たものであった。</li> <li>・「東京の若者だけでなく、地元の若者が誇りを持つことが重要」というご指摘から、西側地区・東京の偏重という現実と課題が浮き彫りになったと思う。</li> <li>・若者定住化に関する促進事業自体についても取り上げて頂けたら勉強になると思った。</li> </ul>					
<b>担当課および市の対応方針・具体的検討内容</b>					
担当課対応方針	具体的検討内容				
市(要改善)	<p><b>【今後の事業展開について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市外へ向けた本格的な情報発信に取り組み始めてわずか3年で、認知度の向上には今後も継続して事業を展開していくことが、極めて重要となります。我孫子市の認知度を上げ移住定住先として選ばれる自治体に向けて「子育て環境の良さ」や「交通アクセス」など東側地区も含めて、知名度向上に向けたメディアミックスによる情報発信を展開していきます。</li> </ul> <p><b>【市民による発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ、ラジオの情報発信では、市民の方にインタビューや出演の機会を提供しています。今後も、市民自ら市の魅力を積極的に発信する機会を増やしていき、自分の街に誇りを持つ「シビックプライド」の醸成に努めます。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業当初から地方創生交付金を活用して効率的なシティプロモーション事業を展開していますが、今後も活用できる補助金を積極的に利用していきます。</li> </ul> <p><b>【事業の効果検証】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住化の効果検証には、情報発信だけでなく、住宅補助や子育て支援、観光、企業誘致など総合的に効果を検証する必要があります。</li> </ul>				
市の対応方針	具体的検討内容				
市(要改善)	担当課対応方針のとおりです。				